

エスディー  
ジーズ  
/  
SDGs

## 給食の生ごみを堆肥化した 土壌改良材「とよっぴー」で 食物資源の循環づくりを

豊中市の小学校39校から出る給食の食べ残しや調理くずと、街路樹の剪定枝を混合・発酵・熟成させて堆肥化した「とよっぴー」。土を元気にして花や野菜が良く育つと人気で、月2回の有料配布では100人前後の人が並ぶ。学校菜園や市農家団体には無料配布し、「とよっぴー」で資源の循環活動を広げ、市民みんなを巻き込んでエコ社会を目指す「花と緑のネットワークとよなか」理事長の高島邦子さんに話を聞いた。



高島さんの自宅の庭はコンポストである。生ごみが堆肥化され、元気な野菜が実っていた。マンションのベランダでもできるプランターを使った堆肥化も実験中。

PROFILE

NPO法人  
花と緑のネットワーク  
とよなか

連絡先：豊中市中校塚1-24-20  
豊中市立環境交流センター  
地球環境を守る市民行動計画「ローカルアジェンダ21」の取組みとして2004年に設立。問合せは下記HPの問合せ欄を参照。  
<http://toyoppy.jp/>

### 市民の活動から始まった 生ごみ堆肥化実験

1999年『とよなか市民環境会議』に参加した市民や市職員・事業者で、生ごみを燃やさず利用できるかを探る『生ごみ堆肥化実験プロジェクト』が設けられ、高島さんもメンバーとして参加。「当時、実験に使用していた生ごみは生協の売れ残った野菜や市役所食堂の残渣で、撮影に行った時、あまりの量の多さに衝撃を受けました。それまで自宅のコンポストで、生ごみの堆肥化を行っていましたが、今の社会はこうなってるんだ。自分の家だけで解決してもダメだと改めて気づきました。」

何度も実験を重ねるなかで、毎日大量に出る学校給食の調理くずや食べ残しがすべて燃やされていることに着目し、それらを堆肥して食物資源を循環させるよう努めた。2000年の食品リサイクル法制定を機に同プロジェクトから市に堆肥化事業の提案を行い、豊中の肥料『豊肥(とよっぴー)』が誕生した。2004年には「花と緑のネットワークとよなか」が設立され、とよっぴーの配布活動(現在は製造も受託)、資源循環の啓発活動を行っている。

### 『とよっぴー』の活用が広がれば 農育・食育も人の輪も広がる

花と緑のネットワークとよなかでは、とよっぴーを活用した『とよっぴー農園』で、親子で野菜の植付けや収穫の農体験ができるイベントを開催。また小学校・幼稚園・保育園に出向いて食育講座を行い、コロナ禍の今は『とよっぴーと給食』というDVDを全小学校に配布している。



『とよっぴー農園』では10月に芋掘りのイベントが行われる予定。

ごみをできるだけ出さないことが、次の世代に良好な地球を継承させることにつながる。そこで一人でも多くの人に生ごみの堆肥化を体験してもらおうと企画された『家庭の生ごみ堆肥化講習会』はすぐに予約が埋まるという。

「野菜のくずは出汁が取れるし、魚や鶏の骨は堆肥化するとカルシウムがたっぷり。生ごみを燃やすともったいないの



「飢餓を  
ゼロに」

菜園学習や環境学習などの食育を通じて生ごみの発生を減らし、地産地消によって食生活を豊かにする。



「つくる責任  
つかう責任」



「陸の豊かさも  
守ろう」

堆肥(土壌改良材)として土に戻し、再資源化・再利用していく本来の自然環境に戻す。

で利用してほしい」と高島さん。

ほかにも同ネットワークでは、市内農家がとよっぴーを使って育てた野菜の販売を行い、地産地消に貢献。公園や空き地で花を育てる団体にとよっぴーを無料配布する『花いっぱい運動』では、地域コミュニティが活性化し、とよっぴーを中心に食や花、緑が循環して地域の和が広がっている。

### それぞれの心がけて 地球環境問題は解決していく

高島さんは「食品ロスを減らすことで生ごみの発生は減り、生ごみの焼却率が低くなれば地球温暖化も防げる。私たちは温暖化の影響を受けるけれど止められる可能性があると思っています。一人一人が気をつけるだけで変わっていくはず」と語る。『とよっぴー』は生ごみを宝に変えただけでなく、誰もが環境問題を考え直すための教材にもなっている。



『とよっぴー』は緑と食品のリサイクルプラザで10kg250円で配布。日時は広報とよなかに掲載。

同ネットワークの  
イベントの詳細は  
右記QRを参照。



SDGsとは「持続可能な開発目標」のこと。2015年の国連サミットで採択された。2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標だ。地球上で「誰一人取り残さない」社会を実現するため、17の目標と169のターゲットを設定している。

## 箕面公園いいね!プロジェクト (イベント案内)

### ①みのおこうえん自然観察会「秋の生きもの観察」 秋のいきものたちを観察しよう。

渡りをする蝶「アサギマダラ」にもあえるかな?

対象 ▶ どなたでも

日時 ▶ 10月10日(日) 10:00~12:00 雨天中止

参加費 ▶ 箕面公園昆虫館まえ

定員 ▶ 15人 ※要事前申込み(先着順)

参加費 ▶ 100円/ひとり



参加者  
募集中

### ②楽しむ、近くの低山ハイク

「チャレンジ!箕面の森で、おやこトレッキング」

子どもと一緒に山歩きをたのしみたい! まずは街のすぐそば箕面の森で探検しながらチャレンジしてみよう。

コース ▶ 箕面駅前~箕面公園内のハイキング道などで約6km。

対象 ▶ 未就学児~小学生とその保護者

日時 ▶ 10月24日(日) 10:30~14:00 雨天中止

参加費 ▶ 阪急箕面駅前 10時20分

定員 ▶ 20名 ※要事前申込み(先着順)

参加費 ▶ 100円/ひとり

\*舗装されていない山道を歩きます。(歩きやすい靴・服装でご参加ください/ペーパークーの使用はできません)



### 昆虫館

#### 新企画展「むしのかたち」

昆虫の形(かたち)ってひとつじゃないよ。かたちから見える多様性をみてみよう

会期 ▶ 9月2日(木)~11月29日(月)

場所 ▶ 館内企画展示コーナー

休館日 ▶ 火曜日

入館料 ▶ 高校生以上280円

中学生以下:無料

障害者手帳の提示で本人と介助者1名:無料

\*安心安全のため、お子様には保護者(大人の方)の同伴が必要です



#### 巡回展「害蟲展」

—ワルモノにされたイキモノたち—

身近にひそむ害虫・害獣とよばれる生きものをテーマに公募したアート作品から入賞・入選作を展示

会期 ▶ 9月29日(水)~10月11日(月)

場所 ▶ 館内企画展示コーナー

(主催: 8thCAL株式会社)

#### 新型コロナウイルス感染拡大防止、感染予防のために

- ▶ 昆虫館は入館者数の制限をおこなっています(再入館はできません、館内イベント中止、館内一部コーナー利用制限あり)
- ▶ 昆虫館の入館、見学時はマスクの着用をお願いします
- ▶ 入館前の検温、手指の消毒にご協力ください。

① ② 問合せ・申込 ☎072-721-3014(箕面公園管理事務所)